

副支部長に(豎山博美氏)が就任 幹事長に(加藤一徳氏)



早稲田大学校友会鹿児島県支部総会

平成8年度 県支部総会



発行 早稲田大学校友会 鹿児島県支部
住所 鹿児島市金生町3-1 山形屋本部秘書室
☎099 227-6310代



平成8年度早稲田大学校友会鹿児島県支部総会が、去る九月二十日(月)校友七十四人参加のもと鹿児島市の林田ホテルで開催されました。

松元茂支部長の挨拶に続き総会議事が行われ、これまで幹事長を務められた豎山博美氏(MBC社長)が副支部長に、また新幹事長には加藤一徳氏(南日本新聞社取締役)がそれぞれ就任いたしました。

その後、前年に引き続きご出席をいただいた奥島孝康総長、中嶋宏校友会代表幹事のお話があり、総会は無事終了いたしました。

続いて懇親会があり、まず今回初めて大学側から出席された村上義紀総長室室長(早稲田大学理事兼務)よりご挨拶をいただいた後、歓談に移りました。

新入会員の自己紹介などが和気あいあいとしたなかで行われ、すでに恒例となったMBCの城光寺剛アナウンサー(S58年教育学部卒)の軽快な司会進行で抽選会など大いに盛り上がり、迫力ある応援部OBのり

◆支部総会出席者◆

氏名	学部	卒業年次	勤務先	氏名	学部	卒業年次	勤務先	氏名	学部	卒業年次	勤務先
赤星多香	政経	S34	安田火災代理店	久保英司	政経	S54	鹿児島市役所	馬場弘人	教育	S45	日本航空
網谷文宏	政経	S32	アマタニ	久保奈央子	1文	H7	鹿児島銀行	濱田絃一	商	S43	中央ビルサービス
池田哲之	法	S63	鹿児島女子短大	栗山良昭	政経	S29	日本通運参与	浜田幸男	教育	S26	熊本音楽短大
石田三郎	1文	H3	キッコマン	古謝将二郎	政経	S27	さつま屋	速水正昭	商	S41	電通九州鹿児島支社
板山正郎	教育	S48	朝日産業	小山田善次郎	理工	S32	鹿児島大学	春田滋	法	S41	ハルタ
岩切久治	政経	S46	東市来町助役	重野省三郎	法	S32	シゲノ	春田正美	高師	S10	
岩下吉廣	政経	S49	山藤建設	城光寺 剛	教育	S58	南日本放送	春田陽三	法	S19	㈱ハルタ
上原一治	文	S48	鹿児島県議会議員	橘真由美	哲学	H7	検察庁	東屋敦修	政経	S59	鹿児島銀行
大迫一輝	教	S58	壽宮陶苑	豎山博美	政経	S32	南日本放送	藤安俊夫	法	S25	藤安機造
大武進	政経	S33	著述業	田中健作	1文	S39	インダハカリタナカ	仏淵 浩	理工	S42	小牧建設
大津 肇	法	S52	大津倉庫	田中徳義	商	S48	鹿児島実業高校	堀内憲夫	政経	S28	南日本放送
大坪 學	社会学	S63	大坪岩次郎商店	田中幸夫	理工	S41	田中幸夫建築設計事務所	増留貴朗	政経	S36	鹿児島県議会議員
大西洋逸	法	S30	鹿児島海陸運送	玉川文生	政経	S46	トワベール	松元 茂	政経	S25	鹿児島空港ビルディング
大野達郎	法	S46	南日本新聞社	月田良彦	政経	S33	南日本放送(MBCサンステージ)	三島 聡	法	S32	殖産住宅相互
大脇通孝	法	S53	大脇通孝法律事務所	水流 泰郎	政経	S49	鹿児島銀行	宮内正義	法	S42	鹿児島銀行
尾藤泰典	政経	H5		藤内正雄	法	S35	大蔵工業	宮川秀樹	政経	S48	宮川公認会計士事務所
尾藤友紀	理工	S49	鹿児島共和コンクリート工業	永里 紘二	商	S40	鹿児島女子短期大学	森 睦男	商	S36	鹿児島製茶
加藤一徳	教育	S40	南日本新聞社	中村三郎	専	S22	鹿児島ヨコハマタイヤ	森 祐介	法	S61	米盛建設
上片平一郎	商	S53	鹿児島銀行	中村 雅彦	法	S36	鹿児島大学	山下昭彦	1文	S54	舞研
上片平良介	商	S15		新原 晃	理工	S29	新原製作所	吉井伸一郎	商	S46	協和薬品
辛島史朗	法	S55	南日本新聞社	西 純一郎	政経	S36		吉重康裕	政経	S42	山生産業
川内博史	政経	S61	川内博史事務所	西迫正紀	政経	S39	NHK鹿児島放送局	吉田和夫	教	S38	吉野住宅
川畑孝則	商	S46	南生建設	西園靖彦	商	S41	南海郵船	吉田 守	教育	S30	南日本総合サービス
菊池 紘	商	S40	鹿児島銀行	西原 敦	専攻	S19	鹿児島高校	米盛 庄一郎	理工	S56	米盛建設
菊池 龍夫	理工	S52	類設計事務所	野見山 洋子	1文	S37	野見山ヨガ整体体操研究所				

ードによる校歌斉唱で懇親会は幕を閉じました。なお、抽選会に景品のご提供をいただいた皆様には心からお礼申し上げます。

報告 事務局長 川畑孝則(S46年商学部卒) 南生建設(株) 専務取締役

今年も川内川で早慶レガッタ

川内市と市漕艇協会に内諾書

5/18には4校対抗ジュニア戦も

今年も、川内川で早慶両大学の
 エイトクルーによる対校戦が行な
 われる。というのは、昨年暮れ、
 川内市の森卓朗市長と、川内市漕
 艇協会の岩崎保会長に、早慶対校
 競漕大会運営委員会の小林太郎委
 員長から、招聘に応じる内諾書が
 届いたからだ。対校レースは五月
 十八日、川内市・川内川天辰護岸
 の漕艇場。午後二時スタート。二
 千メートル直線コースで争われる。
 そのほか今回は、早大・慶大・九
 大・鹿大の四校対抗のジュニア戦
 も計画されているというから、レ
 ガッタ・ファンや両校OBにとつ
 て楽しみが倍加しそうである。

つてか、四クルーともオールが揃
 わず、わずか五百メートルのコー
 スをジグザグ。辛うじてゴールイ
 ンするレース展開であった。成績
 は次の通りだが、まさに参加する
 こと、交流することに意義がある。
 そんな対校戦だった。レース後の
 懇親会も恒例の行事になっている。
 北薩三田会 二分二秒一四
 鹿兒島稲門会 二分三秒〇四
 北薩稲門会 二分四一秒二七

十月中旬、運営委員会に再度、
 招聘を持ちかけたところ、「オリ
 ピックの翌年は公式レースがない
 ので、前向きに検討しよう」と快諾

川内市長 森卓朗 殿
 川内市漕艇協会会長 岩崎保 殿

第6回川内レガッタ
 早慶両大学招聘内諾書

拝啓

時下益々清栄のこととお慶び申し上げます。
 平成4年から始められました川内レガッタも、年々盛んになり、
 すっかり川内川の夏の風物詩の一つとして定着されているとお聞
 きしております。

第2回大会には私ども早慶両大学エイトクルーを招聘いただき
 ました。地域のポート活性化の一助となったものと確信いたして
 おります。

このたび、第6回川内レガッタ(平成9年5月18日)に再び招
 聘くださるとのことは、大変光栄に存じます。両大学当局をはじ
 め、稲門艇友会・三田漕艇倶楽部などに打診をいたしましたところ、
 賛同を得ることができました。

つきましては、「内諾」の旨を本状にてご送付申し上げます。宜
 しくお願いいたします。

末筆ながら川内市並びに川内レガッタの益々のご隆盛を祈念申
 上げます。

敬白

平成8年12月吉日

早慶対校競漕大会運営委員会
 委員長 小林太郎

大会関係者

〈慶應義塾大学〉

- 慶應義塾塾長 鳥居 泰彦
- 慶應義塾体育会端艇部部长 岡田 泰男
- 三田漕艇倶楽部会長 市原 晃
- 慶應義塾体育会端艇部監督 ※ 細田 真
- 三田漕艇倶楽部専務理事 ※ 細田 真

自宅住所：〒150 渋谷区広尾2-15-12(Tel 03-3797-4672)

勤務先：栄太楼総本舗(Tel 03-3300-1371 Fax 03-3300-1160)

木村 新

自宅住所：〒166 杉並区堀ノ内1-8-34-407(Tel 03-3316-0102)

勤務先：三菱化学(株)東京支社無機グループ
 (Tel 03-3287-8085 Fax 03-3287-8102)

〈早稲田大学〉

- 早稲田大学総長 奥島 孝康
- 早稲田大学漕艇部部长 前田 勝也
- 稲門艇友会会長代理 深沢 潜
- 早稲田大学漕艇部監督 ※ 木目田 正人
- 稲門艇友会幹事 ※ 木目田 正人

自宅住所：〒235 横浜市磯子区磯子8-13-17(Tel 045-753-1926)

勤務先：日本リース航空機営業部(Tel 03-3566-8171 Fax 03-3566-8187)

大木 満

自宅住所：〒179 練馬区光が丘7-3-7-104(Tel 03-5998-1816)

勤務先：日商岩井(株)鋳産部鋳産加工品課
 (Tel 03-3558-3147 Fax 03-3588-4292)

〈川内市漕艇協会〉

- 岩崎 保 (0996-22-1714)
- 板山 俊彦 (099-222-8471)

してくれました。川内市からも全
 面的な協力の約束を取り付けてい
 ます。青少年の健全育成と川内川
 の有効利用のため、全国的に有名
 な早慶レガッタのインパクトを是
 非お借りしたい(岩崎保川内市漕
 艇協会長)。

そんな経緯があつて、その後、
 暮れも押しつまった十二月十八日、
 川内市と市漕艇協会に招聘内諾書
 が届き、「両大学をはじめ、稲門艇
 友会、三田漕艇倶楽部などに打診
 したところ、賛同を得た」と朗報
 が記されていた。選手、役員を含
 め約四十人が来鹿することになる
 らしい。

早慶レガッタの場合、レースは
 もちろんだが、観客にとっては、
 両校の応援合戦もみものの一つに
 なる。また、その前後の準備も必
 要となってくる。これは四年前の
 例を上回るまでもなからう。川内
 川で行なわれる二回目の対校戦を
 成功させるためにも、OB諸兄弟
 の参加とご協力を切にお願いした
 い。

北薩稲門会顧問 大武進
 (S35年大学院政治学科卒)

大学を卒業してから既に十五年が経とうとしていますが、毎年十一月後半から年明けにかけての時期「早稲田」の名前を意識する。

きのうラグビーの大学選手権で早稲田は関東学院大学に逆転勝ちした。私が勤務するテレビ局にもご多聞に漏れず、早稲田のOBが多い。普段はお互いに稲門の先輩後輩を意識する事はないが、対抗戦、大学選手権と続くこの時期だけは別だ。顔を合わせれば自然とラグビーの話になり、勤務中にも拘らず、テレビの前で声援を送る。こんな事は他の会社、いや他の大学ならば許されない事だろうが先輩の上司も一緒になってテレビにくぎ付けになる。こうした思いは例えば甲子園で郷土勢が優勝した時でも味わえない。

記者をやっているとよく大学の専攻を聞かれる事がある。けっしてまじめな学生だったと言えない私にとって困ってしまう質問だ。大学時代は授業には割合出たが、教室では駅で買い込んだ新聞を読んでいた。全国紙五紙に英字新聞、朝から晩まで読んで飽きなかった。私は全共闘世代でもなければいわゆる新人類でもない。物心ついた時にはベトナム戦争が始まっていたが、大学に入った時には学生運動は終わっていた。時間はたくさんあった。大学で何を学んだかと言えれば自分で考える事を学んだと思う。私達の世代には信じるべき絶対価値はなかった。その分、自

たが、大学に入った時には学生運動は終わっていた。時間はたくさんあった。大学で何を学んだかと言えれば自分で考える事を学んだと思う。私達の世代には信じるべき絶対価値はなかった。その分、自

早稲田の「匂い」

KTS 鹿兒島テレビ記者

山口修平

(S57年法学部卒)



分で考えなければならなかった。そう言えば格好はいいが、たぶん幼稚な事を朝から晩まで考えていたと思う。でもそうした習性は記者になった今でも続いている。記者になつていろいろなテーマを取材

するが、私は世の中に絶対的なものはないと思つている。一面真実があれば、反面嘘がある。それを見抜くのがジャーナリストだと思つている。ある早稲田OBのジャーナリストは「グッドニュース、バッドニュース」と言つているが、それを見抜くためには、記者は自分自身で考えなければならぬ。よく相手の立場になつて考えるというが、相手の立場に立つては記者が求める真実は見えてこないと思つる。早稲田の魅力は何だろうか。官の東大に対して、在野の早稲田と言われる。私の学生時代と違い早稲田の学生も随分とスマートになつたが、スピリットだけは失つて欲しくない。ジャーナリストを指していた私が早稲田を選んだのはそんな在野精神にひかれてのことだ。早稲田を選んでよかったと思つる。私は早稲田の匂いが好きだ。右から左まで、一つの価値だけではなく色々な価値と考え方を認める。単にスクラムで押すだけではない。タックルで終わりではない。展開する。連続する。早稲田ラグビーに、私は他のどこにもない早稲田の匂いを感じる。取材で東京に出かける事もあがるが、そんな時たまには私は「匂い」を感じるために早稲田を訪れる。

コンペ成績表

開催日：平成8年11月17日
コンペ名：第24回早慶対抗ゴルフ大会
会場：入来城山ゴルフ倶楽部

順位	氏名	OUT	IN	GRS	HDCP	NET	順位	氏名	OUT	IN	GRS	HDCP	NET
1	秋葉重貴(K)	43	41	84	14.4	69.6	11	濱田絃一(W)	54	44	98	22.8	75.2
2	尾堂友紀(W)	46	48	94	22.8	71.2	12	内村二郎(K)	47	48	95	19.2	75.8
3	本坊浩幸(K)	44	45	89	16.8	72.2	13	大西儀朋(W)	41	40	81	4.8	76.2
4	吉富信雄(K)	45	43	88	15.6	72.4	14	吉田守(W)	49	54	103	26.4	76.6
5	上妻利久(K)	39	52	91	16.8	74.2	15	貫井康夫(K)	52	53	105	27.6	77.4
6	大津学(W)	48	49	97	22.8	74.2	16	大西洋逸(W)	54	49	103	25.2	77.8
7	勝又幸宏(K)	47	43	90	15.6	74.4	17	月田好彦(W)	48	52	100	21.6	78.4
8	春田滋(W)	46	43	89	14.4	74.6	18	久保四郎(K)	45	54	99	20.4	78.6
9	馬場弘人(W)	41	41	82	7.2	74.8	19	川畑暁一(K)	51	44	95	15.6	79.4
10	中尾成昭(K)	49	45	94	19.2	74.8	20	新原達也(W)	50	47	97	15.6	81.4

早稲田の連勝ならず
通算成績8勝16敗

東京六大学で盛り上がる

第4回鹿兒島早慶懇親会

第四回鹿兒島早慶懇親会が去る十一月二十五日(月)両校の校友約百四十人が参加して山形屋ファミリーストランで開かれた。

今回は初めて、法政・明治・立教・東大の校友関係者も招かれ、

東京六大学校友の揃い踏みとなった。

恒例により校歌斉唱に始まり両

校の会長挨拶の後、早慶懇親会発足のきっかけとなった川内レガッタ実現に尽力された岩崎保川内漕艇協会会長に対し記念品の授与が行われた。また会に招かれた早慶以外の六大学の校友を代表し挨拶に立った東大の和田久弁護士の一モラスな話に、会場が笑いに包

まれる一幕もあった。

その後、各対抗戦結果報告、新入会員自己紹介、お楽しみ抽選会

と盛りあがっていくなか、両校応援部OBのリードによるカレッジソング応援歌では、六大学すべてにエールを送り親睦を深め合った。

報告 実行委員 辛島史朗
(S55年法学部卒)
南日本新聞社社務局



出席者

氏名	学部	卒業年次	勤務先	氏名	学部	卒業年次	勤務先
網谷文安	政経	S32	アマニ	田中幸夫	理工	S41	田中幸夫建築設計事務所
板山正一	教育	S48	朝日産業	玉利啓介	政経	S55	タマリススポーツ
入来院貞子	1文国史	S33		月田良彦	政経	S33	南日本放送(MBCサンステージ)
入来院重朝	政経	S32		水流泰郎	政経	S47	鹿児島銀行
上原一治	文	S48	鹿児島県議会議員	鶴田志郎	社会	S56	国見農場
大迫雅博	商	S41	鹿児島銀行	西園純一郎	政経	S36	
大西洋進	政経	S33		西園清彦	商	S41	南海郵船
大武洋逸	法	S30	鹿児島海陸運送	野見山洋子	1文	S37	野見山ヨガ整体操研究所
尾堂友紀	理工	S49	鹿児島共和コンクリート工業	馬場弘人	教育	S45	日本航空
加藤一徳	教育	S40	南日本新聞社	濱田絨一	商	S43	中央ビルサービス
辛島史朗	法	S55	南日本新聞社	林田勝彦	文	S45	コピーライター
飯屋立夫	法	S49		速水正昭	商	S41	電通九州鹿児島支社
刈屋美枝子	理研	H6		肥後貞人	理工	S51	KKB鹿児島放送
川井田哲	理工	S52	川井田組	堀潤浩	理工	S42	小牧建設
菊池紘一	商	S40	鹿児島銀行	飯内憲夫	政経	S28	南日本放送
菊池龍夫	理工	S52	顔設計事務所	増留貴朗	政経	S36	鹿児島県議会議員
北園寿郎	教	S63	電通九州鹿児島支店	松元茂	政経	S25	鹿児島空港ビルディング
久保英司	政経	S54	鹿児島市役所	三嶋聡	法	S32	ハウジング創建
栗山良昭	政経	S29	日本通運	宮内正義	法	S42	鹿児島銀行
黒岩千尋	商	S33	鹿児島女子短期大学	麦野隼	1文	S41	日本パブテスト伊集院キリスト教会
黒木孝記	商	S49	鹿児島日産自動車	百田陽一	政経	S40	KKB鹿児島放送
香西政彦	理工	S53	インフラテック	森睦男	商	S36	鹿児島製茶
古謝将太郎	政経	S27	さつま屋	森祐介	法	S61	米産建設
佐名木高広	商	S63	キンピール鹿児島支店	山根京章	商	S39	東京物産
豎山博美	政経	S32	南日本放送	吉田守	教育	S30	南日本総合サービス
田中徳義	商	S48	鹿児島実業高校				



編集後記

センバツ甲子園優勝校鹿実の主将として、郷土を沸かせた林川大希君の早稲田への進学が内定しました。このところ不振続きの六大学野球での彼の大きい活躍を是非期待したいものです。

会報委員

- 吉田守 久保英司
- 辛島史朗 大西儀朋
- 宮里幸弘 始良一徹
- 西青木亨